



自身の体験を語る寺西さん= 22日、県職員会館

# 過労死根絶へ 民間団体連携

## 山陰家族の会を設立

近年社会的問題となつて  
いる過労死を根絶する取  
組みを推進するため、連合  
島根(仲田敏幸会長)と県  
内の民間団体が共同して、  
「山陰過労死を考える家  
族の会」を設立するこ  
に  
なり、22日、松江市の県職  
員会館で発足式が開かれ  
た。2014年6月の過労  
死防止法成立を受け、全  
國的に家族の会発足の機運が  
高まったことを受けたもの  
で、山陰地域の会発足は全  
国で12番目となった。

発足式には連合島  
根の仲田会長、全国過  
労死を考える会代表の  
寺西美子さん、島根労  
働局の浅野茂充局長、  
県の安川真史商工労働  
部次長らが出席。閉会  
にあたり、家族の会  
の事務局長に就任した前  
浜田市議の三浦一雄さ  
んが「過労死はあって  
はならず、これ以上見  
過すわけにはいか  
ない。過労死の防止と再  
発を防ぐため、被害者  
や遺族と連携して支  
えあい、輪を広げてい  
きたい」とあいさつ。  
家族の会の代表と  
なつた出雲市の高木栄  
子さんは「7年前、息  
子を自死で失つた。原  
因は会社であり必死に  
調査して社長の暴力な  
どの実態を知つた。息  
子が安心して話せる場  
所があったら、どんな  
に良かったかと思ひ、  
心の拠り所となる窓口  
を作らないといけない

と悪い、会を立ち上げ  
たい」と抱負を述べ  
た。来賓としてあいさつ  
した島根労働局の浅野  
局長は「過労死防止法  
施行を受け、長時間労  
働や過剰労働の削減  
に向け監督、指導して  
いる。さまざまな対策  
を講じて、効果的な監  
督指導に努めたい」と  
語つた。  
発足式では、全国過  
労死を考える会の寺西  
代表が「過労死ゼロの  
社会をめざす課題と遺  
族の願い」と題して記  
念講演した。京都市か  
ら駆けつけた寺西さん  
は夫を飛び降り自殺で  
失つた経験をもとに、  
「過労死はまじめで責  
任感が強い優秀な人が  
被災する極めて理不尽  
なき」と語つた。  
その上で、全国各地  
に広がつた家族の会  
役割と課題について述  
べ、①過労死に関心を  
持つ団体と連携し、過  
労死の問題を広く社会  
にアピールしていく②  
過労で倒れた本人ま

たは遺族のために労災  
認定の早期実現を目指  
すとともに、労災補償  
の改善と企業補償に取  
り組む③過労死の発生  
する社会的背景につい  
て、企業や監督官庁の  
健康・安全管理の問題  
点を明らかにし、過労  
死発生の予防に取り組  
む④家族の会相互の情  
報交換を密にして、支  
えあい励ましあつて連  
帯の輪を広げていく⑤  
といった4点の活動目  
的を訴えた。

家族の会の呼びか  
け人の一人で副代表に  
就任した米子市の弁  
護士、高橋真一さんによ  
ると、今後は定期的  
に1〜2カ月に1回  
のペースで過労死被災  
者、遺族、家族が集ま  
り、相互の交流・情報  
交換を進め、過労死を  
相談する窓口があるこ  
とを知ってもらうよう  
周知していくという。  
相談窓口のフリーダ  
イヤルは0120・1  
54・052



平成28年(2016年)  
4月23日(土)  
発行所  
島根日日新聞社  
〒693-0064 出雲市里方町545  
編集 (0853) 23-6760  
営業 (0853) 23-6777  
FAX (0853) 24-3530  
E-mail: henchu@shimaneichinichi.co.jp  
松江 TEL (0852) 31-1041  
FAX (0852) 31-9205  
雲南 TEL (0854) 45-3991  
FAX (0854) 45-3993  
大田 TEL (0854) 82-7388  
FAX (0854) 82-7366  
東京 TEL (03) 3519-5575  
FAX (03) 3519-5836

新型インフルエンザ  
対策パック

0120-756-312  
http://www.secom-sarin.co.jp/  
SECOM  
セコム山陰株式会社